

東京地学協会出版物のオープンデータ化について

加藤 茂*

Open Data of the Publications by Tokyo Geographical Society

Shigeru Kato*

*一般財団法人 日本水路協会 Japan Hydrographic Association, Daiichi Sogo Bldg. 6F, 1-6-6,
Hanedakuko, Ota-ku, Tokyo, Japan 144-0041 /東京地学協会 Tokyo Geographical
Society

キーワード：東京地学協会，地学雑誌，オープンデータ

Key words: Tokyo Geographical Society, Journal of Geography, Open Data

1. はじめに

公益社団法人東京地学協会は，創立以来内外の地学に関する調査・研究を行い，その成果の一部を書籍，地図として刊行してきた．その多くが，現在では入手困難になっていることから，順次デジタル化を進め，本協会ホームページにおいて公開を開始した．その概要について報告する．

2. 東京地学協会について

東京地学協会は，地質学，鉱物学，地理学，地球物理学，地球化学などの研究者・専門家・学生からなり地学研究の振興と研究成果の普及を設立の理念としている．協会は 1879 年(明治 12 年)に創立され 130 年以上の長い歴史を有し，現在は定期出版物『地学雑誌』(隔月刊)の発行，講演会の開催，専門家紹介，見学旅行，研究助成などを通じた地学研究の振興と研究成果の社会への発信を広く展開している．

最近では，地学雑誌に皇太子殿下から寄稿を賜り (vol.123, no.4)，また，Google Scholar Metrics において日本語の科学雑誌の中で地学

雑誌が第 1 位となるなど注目されている．

3. これまでの Web 公開

地学雑誌は第 1 巻 (1889) から最新号まですべて J-STAGE (総合学術電子ジャーナルサイト)において Web 公開されており，全論文がダウンロード可能となっている．

地学雑誌以外の東京地学協会による明治期以降の出版物は，我が国や東アジア地域の地質学，地理学など多岐にわたり (佐藤,1969)，昭和期以前の出版物は絶版となっているものが多い．このため，散逸の危機にある貴重な出版物を対象に，2013 年からデジタル化と Web 公開に取り掛かった．

2013 年には，地学協会において保管されている次の出版物について，はじめて試験的に公開した．公開に当たっては，閲覧し易くすること，特に地図類についてはその詳細さが損なわれないように注意した．

- 1) 地学論叢 第 1～3 輯(1908), 第 4 輯(1909), 第 5 輯 (1913)
- 2) 楊子江上流地方調査日誌 (1936)

- 3) 北氷洋洲及アラスカ沿海見聞録 (1895)
- 4) 東亜地質鉱産誌 (1952)
- 5) 東亜地質図 (1929)
- 6) 支那地学調査地形及び地質図 第壹帙, 第貳帙 (1917)

このうち, 地学論叢の第 4 輯には中央アジアやチベットの探検で知られるスウェン・ヘディン氏の来日講演の内容が紹介され, また, 東亜地質鉱産誌には東アジアの地質鉱産事情が朝鮮, 満州, 支那の 3 部の論文集としてまとめられている。

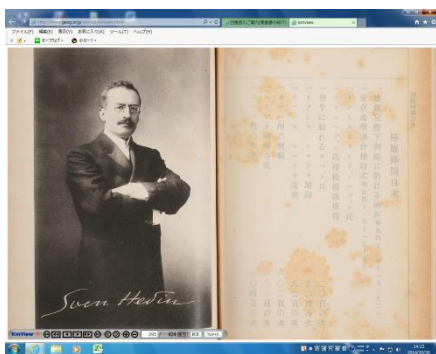


図 1 スウェン・ヘディン氏の肖像写真。
地学論叢第 4 輯より。

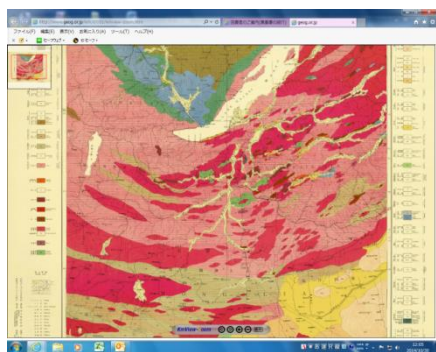


図 2 東亜地質図 (部分)。

4. 今後の計画と課題

2014 年は, 引き続き協会出版物を対象にデジタル化と Web 公開する作業を続けている。現在地学協会に保管されていない出版物は, 佐藤 (1969) の記事を参考に大学図書館などを検索し, 借用できたものについても対

象とした。現在, 作業を進めている出版物は次のとおりである。

- 1) 英和・和英地学字彙 第三版 (1919)
- 2) Guide-books of the Excursions, Pan-Pacific Science Congress, 1926
- 3) 日本の学者による, 中国本土に関する地理学的研究著書, 資料, 論文目録 (1935 ~ 1950)。
- 4) 台湾諸島地図 (1896)
- 5) 韓国地質鉱産図 (1908)
- 6) 支那地学調査化石図譜 (1920)
- 7) 東亜及南洋地質総図 (1932)
- 8) 南洋地質図 (1932)
- 9) 揚子江上流地方旅行線路図 (1936)
- 10) 樺太地質図及び説明書 (1939)

今後の課題としては, いまだに現物が発見されていない出版物を探し出すこと, また, 比較的新しい出版物については著作権について整理したうえで進める必要があり, 著作権の手続きを適切に実施することとしている。

なお, 一部の協会出版物はすでに国立国会図書館において Web 公開されていることが分かった。このため, 協会外で既に Web 公開されている場合は, 作業の重複を避けてリンクを張ることとしている。

5. おわりに

今後は順次, 対象の書籍や地図を充実することとしており, Web ページを逐次改良したいので, 使い勝手等について意見やコメントを求めている。

文 献

佐藤正 (1969) 東京地学協会出版物解題, 地学雑誌 vol.78, no.3, 223-228